



古紙のリサイクルを通じてゴミを減量化し、
電子媒体の処理で時代のニーズを掴む。



再生資源卸売業 協業組合 長崎市古紙リサイクル回収機構

長崎市が分別回収するミックス古紙の受け入れ、選別、圧縮加工を行い、リサイクルフローの一翼を担う。また市内の自治会や子供会等と連携し、集団回収も推進。現在、222団体の回収を実施しているほか、ながさきオフィスエコクラブの指定事業組合として、年間300トンの事業系古紙類もリサイクルしている。発砲スチロール等廃プラスチック処理事業や廃棄物収集運搬事業等、事業は多岐にわたる。



事業のテーマ

新トラックスケール導入に係る古紙増量計画

事業のきっかけ

これまで運搬車両は、当組合が発行しているパンチカードを使用していたが、登録できる情報量が小さい、カードが摩耗すると誤作動を起こす、雨天時には計量書が落ちると搬入車両が渋滞し、作業全体が大幅に遅延する、カードに登録された情報が変更された場合、カードを破棄せねばならずコストがかかる等の様々な問題が生じていた。加えて、荷下ろしの時間に平均20分以上費やし、搬入業者の負担になっていることから回収量も伸び悩んでいた。

事業内容・成果

今回導入した「電子式トラックスケール」は磁気カードを使用するため、カード作成が簡略化し、摩耗による破損がなく、情報の置き換えも可能となった。またオートカッターが搭載されていることから、雨天時の水濡れも大幅に軽減した。計算方式に関しては、これまで事務所にて手作業で行っていたものが自動化により、誤記入が改善。荷下ろしにかかる時間も短縮された。さらに、手作業で記帳していた計量数値もデータ化され、集計作業が効率化、データの活用用途が拡大した。

今後の展望

紙媒体の電子化が進み、古紙の量は減少傾向にあるため、機密文書の処理に付随し、今年度より電子媒体処理事業として、HDDやSSDの処理にも力を入れている。さらに今後は、古紙の持ち込み特買日を広くPRすることも売上アップを図りたい。

●ものづくり補助金活用

一般的な荷下ろしの時間が

約20分

→ 約15分

作業時間が25%短縮!

データ管理が可能になり、古紙回収量が増加。
さらに作業の効率化により、電子媒体処理事業等、
新たな事業に取り組む余裕が生まれた。



協業組合長崎市古紙リサイクル回収機構

長崎県長崎市小江町1-10
TEL/095-841-9411 FAX/095-841-9422
HP/https://nkrk.red/
MAIL/recyclekikou110@jeans.ocn.ne.jp
代表理事/田中政則
設立/1996年2月29日
資本金/22,730,000円
業種/再生資源卸売業 従業員数/40名